

市民協働

地域 みんなでまちづくり



新規 SDGs未来都市推進事業支援補助金の創設 ▶100万円

SDGs未来都市推進事業支援補助金を新たに創設し、古河市SDGsパートナー等による民間主体の取り組みを支援します。市民・企業・行政などが連携しながら、地域におけるSDGsの普及・展開を推進します。



産業労働

活気とにぎわいのあるまちづくり



新規 市内空き店舗の実態調査 ▶1,788万円

市内にある空き店舗の有効活用を図るため、地域の商業環境や消費者ニーズの調査・分析を行います。分析結果を基に関係機関と連携しながら、出店希望者とのマッチング支援等を実施し、商店街の活性化やまちのにぎわい創出を目指します。



生活環境

安全で快適なまちづくり



継続 一般廃棄物処理施設将来構想の策定 ▶1,725万円

市内ごみ処理施設の老朽化等の現状を踏まえ、安定かつ効率的なごみ処理を行うために、どのような施設が必要となるかについての検証を進め、構想を策定します。

都市基盤

魅力的で利便性の高いまちづくり



新規 公園施設の計画的な維持管理 ▶1,300万円

公園施設の安全確保と維持管理を計画的に行うため、長寿命化計画を策定します。国の交付金等を活用しながら計画的な修繕を行うことで、施設の長寿命化を推進し、ライフサイクルコスト(施設等の計画・設計から解体までの全期間にかかる費用)の削減と修繕コストの平準化を図ります。



行財政

まちづくりを支える行政経営



継続 市の魅力発信 ▶2,529万円

ブランド戦略「こがくらす」について、引き続き動画制作ワークショップを実施するとともに、古河の魅力を共有する新たな取り組みとして、動画コンテストを開催します。



健康福祉

互いに支え合うまちづくり



新規 1カ月児健診に対する一部公費負担の開始 ▶482万円

安心して子育てができる環境の整備に向け、1カ月児健康診査にかかる費用の一部を助成し、乳児の疾病の早期発見と健康の保持・増進を図ります。



新規 骨粗しょう症検診に対する一部公費負担の開始 ▶275万円

骨粗しょう症になるリスクが高い女性を対象に、骨粗しょう症検診にかかる費用の一部を助成し、生涯にわたる市民の健康づくりを支援します。



拡充 地域相談支援センターの増設 ▶110万円

障がい者やその家族から地域相談支援センターへ寄せられる相談件数は年々増加し、相談内容も複雑化・多様化しています。そのため、同センターを1カ所増設し、充実した相談支援を行います。

教育文化

人が育ち文化の息づくまちづくり



新規 校内教育支援センターの設置 ▶3,353万円

不登校から学校復帰する段階や不登校の兆候が見られる生徒に対して、自分のペースで学習・生活できる環境を整備し、学校内での居場所を確保するため、各中学校に校内教育支援センターを設置し、指導員を配置します。



新規 小中学校ICT教育 タブレット端末の更新 ▶6億230万円

児童生徒に1人1台の端末を整備してきましたが、導入から5年が経過したため、今年度から2年間で端末を更新し、充実した教育環境を維持します。



継続 小中学校等避難所施設への空調機整備 ▶15億1,375万円

指定避難所となっている小学校15校と中学校6校の体育館に空調設備を整備します。また三和図書館の空調設備とトイレ改修を実施し、避難所としての機能強化を図ります。

継続 古河第一中学校の長寿命化 ▶6億4,329万円

長寿命化対策に引き続き取り組みます。今年度から2年間で普通教室棟の改良工事を実施します。